～ 多様な「つながり」が「暮らし」と「いのち」を守る ～

社協ひこね

みんなのオモイをカタチに

募金バッジ

©彦根市×©HIKONE/ytv×鳥人間コンテスト

ひこにゃん×赤い羽根
コラボ募金バッジ
2023ver.登場♪

募金チャーム

©彦根市

1回500円以上の寄付をいただいた場合に、バッジかチャームのどちらか1つをお渡しします。

10月
2023
第226号

ひこねの町を良くするしくみ

赤い羽根でおなじみの共同募金。
だれもが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、さまざまな地域課題の解決に取り組む活動（団体）を応援するしくみです。彦根市で集まった募金は、彦根市内での「多様なつながり」や「見守り合い・助け合い」の福祉活動に活用されます。
あなたができるカタチで共同募金運動に参加してみませんか？

（詳細は２～３ページをご覧ください）

彦根市社協では、「見守り合い活動」および「見守り会議」に取り組まれる自治会を応援しています。お気軽にご相談ください。

誰ひとり取り残されない　つながりのある地域づくり

じぶんの町を良くするしくみ 赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金　10/1～12/31
歳末たすけあい募金　12/1～12/31

共同募金って？

さまざまな地域課題解決に取り組む活動を応援するため、使い途を決めて寄付を募る「計画募金」です。自治会や学校、会社、お店など、いろんな場所・いろんなカタチで募金活動が行われています。

何に使われるの？

集まった募金は、約５割が彦根市内に、残り半分は県内の福祉施設や団体の助成・災害への備えとして「災害準備金」等のために使われています。
※使い途は「ゆくえとけいかく」をCheck！

歳末にも募金があるの？

生活困窮や社会的孤立など生きづらさを抱える人など、孤独や孤立を防ぎ、安心して暮らすことができる福祉のまちづくりへの幅広い理解と参加を呼びかけます。集まった募金は、全額が彦根市内に配分されます。

ガチャガチャの貸出しはじめます♪

地域のイベントや企業、大学などに、バッジ募金用のガチャガチャをレンタルします。
イベントを盛り上げるツールの一つとして、ガチャガチャ募金に参加してみませんか？
詳しくは、彦根市共同募金委員会までお問い合わせください。

貸出物品
・ガチャガチャ本体
・カプセル
・募金バッジ

貸出期間
・最大２週間まで

※利用料は無料です。
※搬入・搬出は各自でお願いします。

ひこねのまちを支える“ひこね共同　募金サポーター”

イベントや地域で

オモイをつなぐ活動が広がる共同募金

高宮学区社会福祉協議会
ミタニダンススタジオ
三谷　恵一さん

数年前から、市内で主催するダンス競技イベントで、バッジ募金に参加しています。会場にいる皆さんに募金を呼びかけ、関心を持ってもらえる働きかけをしています。

また、地域では、高宮学区社協のメンバーが中心となり、住民のみなさんにＰＲしながら一緒に盛り上げています。

共同募金は「じぶんの町をよくするしくみ」。自分たちの集めた募金によって、自分たちが暮らす地域が潤うように循環させていくことが大事だと思っています。例えば、小学校や中学校の子どもたちとの活動など、地域のおっちゃんたちが持つネットワークやつながりを活かして、共同募金をもっと楽しく盛り上げたいと思っています。

企業で

企業のチカラで、地域をともにつくる

株式会社ブリヂストン彦根工場
労務・ＣＳＲ推進課

昨年の秋、『従業員の関心を惹き、地域を愛する気持ちを膨らませたい』とのオモイから、新たな取組として、ガチャガチャによる募金活動に参加しました。工場内の食堂前にガチャガチャを設置し、社内また工場見学に来られた方に共同募金のＰＲと募金への協力を呼びかけました。参加した社員からは、「ひこにゃんのデザインが可愛い。子どもや孫が喜んでくれる」「共同募金が身近にあることを知った。自治会や街頭でも募金をしてきた」などの声がありました。ガチャガチャをきっかけに、楽しんで募金したり、地域に目を向けたりするきっかけになったことは、いい取組だったと実感しています。

街頭やお店で

バッジ＆チャーム募金ができるのはココ！
各施設について、詳しくは彦根市社協のホームページをご覧ください。

バッジ＆チャーム募金　協力施設

	協力店名
1	ホテルサンルート彦根（旭町）
2	彦根キャッスルリゾート＆スパ　彦根みやげ本陣（佐和町）
3	琵琶湖コンファレンスセンター（新海町）
4	びわ湖畔　味覚の宿　双葉荘（松原町）
5	アパホテル彦根南（平田町）
6	亀の井ホテル 彦根（松原町）
7	ホテルルートイン彦根（東沼波町）
8	東横ＩＮＮ彦根駅東口（駅東町）
9	彦根アートホテル（高宮町）
10	ＮＰＯ法人ひこね文化デザインフォーラム　本町宿（本町二丁目）
★ 11	㈱四番町スクエア四番町ダイニング　キャラクターワールド（本町一丁目）
12	ＮＰＯ法人小江戸彦根　彦根城屋形船（金亀町）
★ 13	アル・プラザ彦根（大東町）
14	お花屋さん Leaf（大東町）
15	Body Care nenek（ボディケア・ネネ）（長曽根南町）
★ 16	パリヤ サンペデック Ｐマート（長曽根南町）
17	ファイテンショップ彦根店（西今町）
★ 18	ビバシティ彦根（竹ヶ鼻町）
★ 19	りそな銀行　彦根支店（中央町）
20	彦根商工会議所（中央町）
★ 21	彦根市観光案内所（古沢町）
★ 22	彦根観光センター（尾末町）
23	公益財団法人 彦根市シルバー人材センター（開出今町）
24	彦根市出納室（彦根市役所１F）
25	稲枝地区社会福祉協議会（彦根市稲枝支所内）
26	彦根市社会福祉協議会（彦根市福祉センター別館）

（令和５年８月15日現在）
※★＝ガチャガチャ設置店

オンライン募金できます

彦根市共同募金委員会（彦根市社会福祉協議会内）
TEL：0749-22-2821　FAX：0749-22-2841

災害に強い地域づくりを推進しています

知ってますか？ 災害ボランティアセンターについて

地震や台風などの災害により大きな被害が出た際には、災害ボランティアセンターを立ち上げます。市内外から駆けつけてくださる多くのボランティアさんの受け入れを調整し、被災により困り事を抱えている方々とをつなぐマッチングを行います。

訓練時の写真▶

困りごとを“把握する”

・被災地域の状況確認
・相談受付
・現地確認　　などなど

ボランティアを“受け入れる”

地域住民　　学　　生

それぞれの強みを活かした協力が大切

ボランティアグループ　　企業・NPO

ボランティアと困りごとを“つなぐ”

泥かき がれき運搬
炊き出し 配食
お話し相手
ボラセン 受付・案内
避難所等での レクリエーション

力作業以外にも様々な役割があります

運営は地域の力が不可欠

災害ボランティアセンターは、行政からの要請を受け、被災した地域の市町社協が事務局として立上げを行います。ただし、運営は地域住民や各種団体の協力のもと行うことで、より被災地の現状に即した内容で取り組むことができます。

彦根市社協では平時の取り組みとして、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を民生委員や学区地区社協など、地域の方々にも参加いただき実施するとともに、有事の際の連携について考えるきっかけとしています。

－地域における災害時に備えた「たすけあい」の仕組みづくり－

芹橋二丁目

防災会と自治会が連携し、要支援者情報の確認と共有、避難行動体制など丁寧に取組を進められています。昨年度、自治会・行政・介護事業所（ぶどうの家芹橋）・社協が合同で実施した『福祉避難所運営訓練』をきっかけに、防災会議に介護事業所も参加し、協働で取組を進められています。

要配慮者の把握と避難行動の確認
平時からのネットワーク
日頃の見守りと介護事業所との連携

栄町一丁目

防災会が中心となり、要配慮者情報の把握と地域協力者等との連携による避難時の体制づくりに取り組まれています。町内の認知症高齢者や障がいのある方の避難支援やフォローの仕方について、ぶどうの家芹橋と情報交換しながら、日頃からの見守りや地域連携について検討されています。

福祉避難所運営訓練をきっかけに地域連携が一層強くなりました。地域の身近な存在となり福祉事業所として活動し、地域支援の一助になれば幸いです。

ぶどうの家芹橋
管理者　居川勉さん

地域づくりボランティアセンター
ここから通信
身近なボランティア情報をお届けします♪

協力企業・事業所募集中！

社会参加の場づくりにご賛同いただき、就労体験や軽作業の機会や場をご提供いただける場合は、下記までお問い合わせください。
TEL：0749-22-2821　メール：hikoshachiiki@mirror.ocn.ne.jp

ふくし×事業所 コラボ企画

『ものづくり×お仕事ワークショップ』

漠然とした不安やしんどさで上手くいかない方、何かしたいが一歩が出ず充電中の方などの「できる」を引き出すきっかけづくりとして、作業療法士　兼　ものづくり作家であるOpullの髙田氏に協力いただき、ものづくりと就労体験を取り入れたワークショップを実施しました。

ものづくりと役割はひとを元気にする

「手芸は苦手だと思っていたけど、苦手意識がとれました」

「私は不器用で何もできない」が
「単純作業なら私にもできる」
という自信へ

「人と喋るって楽しいね」
「また来たいわ」
という出かける楽しみへ

ものづくりを通して参加者の“楽しい”や“やってみたい”が自然と引き出され、次の“何か”へつながるきっかけとなる場を提供しています。

Opull
髙田さん

協力：アル・プラザ彦根
COZY TOWN

作品を一部加工して実際に販売

ボランティアのきっかけが“芽生える”ところ。

情報交換、仲間づくり、顔の見える関係づくりに活用ください

第1・3・5水曜日
開催しています。

ボラカフェ
Volunteer cafe HIKONE

彦根市男女共同参画センター「ウィズ」
9:30～12:30

ボランティアコーディネーターが相談に応じます（予約優先）

プチ講座の講師にチャレンジしてみませんか？

ボラカフェには、プチ講座という企画があり、だれでも講師になれます。あなたの知識や経験、特技を活かした「オリジナル講座づくり」をサポートします。

事例１）タッチケア体験

事例２）介護のワンポイント講座
「通院・受診のサポート編」

今年もやります！

参加無料

2023ボランティアフェスティバル in ひこね

社会福祉大会も同時開催！

と　き　11月19日(日)　11:00～15:00
ばしょ　ビバシティ平和堂

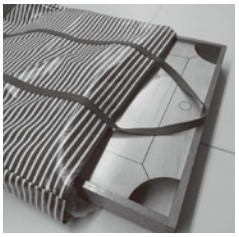
彦根を中心に活動するボランティアさんが集まってゼロから手作りした企画がいっぱいのお祭りですよ～

どなたでもお気軽に！

地域における居場所・つながり・健康づくりに活用できる
ふくしのまちづくり応援グッズ

地域における居場所・つながり・健康づくりの活動を応援するため、各種物品の貸出を行っています。
このたび、カロム専用の持ち運び袋を作成しましたので、ぜひご活用ください（貸出条件についてはお問い合わせください）。

あじさい福祉会の利用者と職員による力作です！



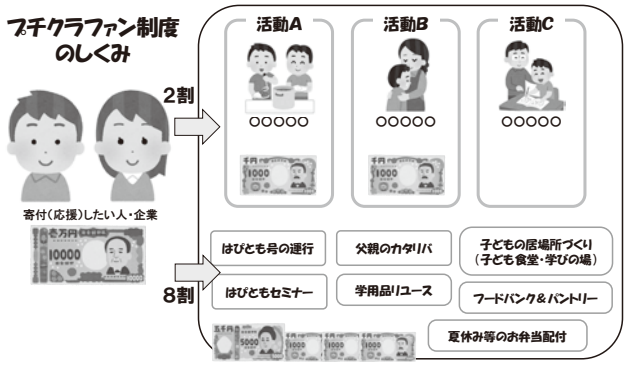
子どもたちの幸せを応援する　新たなしくみがスタート♪

プチクラファン制度

応援したい活動を選んで寄付できる

プチクラファン制度は、はぴとも基金へ寄付する際に、寄付額の最大２割まで『寄付者が応援したい活動（団体）を指定』することができる新たな寄付のしくみです。

※プチクラファンで寄付を募集している団体の取組や事業に関する情報は、はぴとも基金のホームページからご覧いただけます。



エントリー中

かめのこ子ども食堂

子どもの幸せを応援する活動を、みんなで応援しましょう♪

はぴとも号の運行

子どもの居場所への送迎サポート

さまざまな理由により移動が難しい子どもたちの、子ども食堂や学びの場など地域の居場所への送迎をサポートしています。

まもなく、養成講座を受講したボランティアによる『はぴとも号』の運行がスタートします！

『はぴとも基金』に関するお問合せ

彦根市社会福祉協議会
地域づくりボランティアセンター
ＴＥＬ（0749）22-2821
ＦＡＸ（0749）22-2841
メール　hapitomo@hikone-shakyo.or.jp

詳細はコチラ

寄付はコチラ

市内の子ども食堂を紹介します♪

～さわやまほっと♡ランチ～

「みんなで食べるカレー」が５月から復活しました。

“彦根でいちばんおいしいカレー”を目指してボランティアさんによる準備が前日からスタートします。

開催日は、もちろん保護者の参加も大歓迎。６月には、バルーンアートのボランティアさんにも来ていただき、楽しいひとときを過ごしました。

あたたかい思いやり♥ありがとうございました

彦根善意銀行　令和5年4月1日～令和5年7月31日

金銭預託

（敬称略）

氏名または団体名	金額（円）
歌は友だち	13,616円
彦根市立東中学校 昭和31年度卒業生一同	61,712円
犬上川開出今地区 竹林愛護会	50,000円
匿名	3,306円
匿名	2,000円
匿名	5,000円
匿名	2,000円
匿名（指定寄附）	30,000円

物品預託

（敬称略）

氏名または団体名	品名
古川　明宏	大人用紙オムツ
宮下　恵	大人用紙オムツ・おしりふき
北野　洋子	大人用紙オムツ
匿名（指定寄附）	大人用紙オムツ
匿名（16名）	大人用紙オムツ、尿取りパッド、リハビリパンツ､子ども用紙オムツ、生理用品

事前予約制
相談無料

高齢者・障がい者 なんでも相談会 in 湖東地域

相続、借金、税、生活などにお困りの方に対して、相談会を実施します。
親族や福祉関係者からのご相談も受け付けておりますので、気軽にお問い合わせください。

※高齢者と障がい者の相談が対象になります

日時：令和５年11月23日（木・祝）10：00～16：00
場所：彦根市障害者福祉センター（彦根市平田町594番地）
お問い合わせ：0749-22-2821（彦根市社会福祉協議会）

◆事前予約受付期間：令和５年９月27日(水)～10月27日(金)

◆お申し込み先：彦根市社会福祉協議会　TEL：22－2821　FAX：22－2841

◆ご予約の際に相談内容の聞き取りをさせていただき、相談日の来会時間につきましては、調整のうえ、後日ご連絡いたします。

◆キャンセルされる場合は、11月16日（木）までにお願いします。
（ただし、当日の体調不良の場合はこの限りではありません）

彦愛犬権利擁護サポートセンター

～成年後見制度啓発講座のお知らせ～

成年後見人等（成年後見人、保佐人、補助人）はどこまで関われるのか、どんなことをしてもらえるのかという疑問を抱えている相談員も少なくないと思います。

実際に成年後見人等を受任されている司法書士に、成年後見人等の受任から終了までの役割について学ぶ講座を開催いたします。

テーマ：成年後見人等の役割（受任から終了まで）

2023年11月6日(月)
13：30～15：10

◆講師◆
公益社団法人成年後見センター
リーガルサポート滋賀　支部長
町田　一平氏

場　　所：彦根市福祉センター別館２階　集団健診室
定　　員：60名
参 加 費：無料
対 象 者：彦根市･愛知郡･犬上郡内の地域包括支援センター職員、介護支援専門員、相談支援専門員、医療関係の相談員等
申込期限：10月20日(金)まで

お問い合わせ・申込先
彦愛犬権利擁護サポートセンター
ＴＥＬ 0749－22－2855
ＦＡＸ 0749－22－2856

彦愛犬権利擁護サポートセンターでは、随時、出前講座を実施しております。どうぞ、お気軽にご相談お申し込みください。

あいさつプラスOne運動

「良いお天気ですね」「お元気ですか？」
普段のあいさつに一言添えて！
彦根市社会福祉協議会は、あいさつから繋がる地域づくり『**あいさつプラスOne運動**』を進めています。

○点訳版・音声版（CD版）の貸出しを行っています。
○社協ひこねは55,200部作成し、1部当たりの単価は7円（1円未満切捨て）です。
ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれません。
○環境に配慮し、再生紙を使用しています。廃棄する際は古紙回収に出してください。

貸衣装だより

貸衣装HP　𝕏（旧twitter）　Instagram

重要

レンタル価格改定のお知らせ

平素より貸衣装室をご愛顧いただき、ありがとうございます。消費税が10％に改定された際も一部を除いて価格を据え置き、自社努力を重ねながら価格維持に励んでまいりましたが、昨今の仕入れ価格の高騰、商品保管にかかる維持費などの経費高騰をうけ、2024年1月1日よりレンタル商品の価格改定を実施させていただきます。

ご利用者の皆様へは大変恐縮ではございますが、商品の品質保持を図っていくために何卒ご理解いただきますようお願いいたします。今後とも利用者様にご満足いただけるよう、サービスの向上に努めてまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

	種　　類	利用料金（税込）
女性	留袖	5,000円～25,000円
	訪問着	8,000円～20,000円
	振袖	25,000円～50,000円
	中振袖	6,000円
	袴	4,000円
	喪服･ブラックフォーマル	5,000円
	洋装（慶事用）	1,000円～5,000円
男性	紋付羽織袴	9,000円
	モーニング	7,000円～9,000円
	略礼服・スーツ	5,000円
子ども	祝着	5,000円
	七五三	5,500円～7,500円
	男児スーツ	2,000円～3,000円
	女児ドレス・スーツ	2,000円～2,500円

上記価格表は2023年８月１日現在のものです。

七五三のご予約はお済みですか？

七五三衣装の予約が始まっています。当会の衣装はフルセット価格となっています。お子様の寸法に合わせてレンタルしているので、ご自宅で着付けることができます。

また、当会の衣装を使って各種類別に着付けの方法をYouTubeにて公開しています（詳細はホームページまで）。この機会に是非着付けにチャレンジしてお子様の記念日に社協の衣装をお役立てください。

★10月２日～11月30日まで
常時展示中

卒業式用の着物及び袴入荷！

※

卒業式用の着物及び袴の新作が入荷しました。

卒業式のスタイルをまだ決めていない方は一度検討してみてはいかがですか？

※左側写真の袴の色はありませんので、あらかじめご了承ください。

【お問合せ】
彦根市社会福祉協議会
貸衣装室
TEL：0749-22-1122　直通
【営業時間】
月～金曜日
８：30～17：15（祝日除く）
第２土曜日
９：00～17：00

この事業で得た収益は、彦根市社会福祉協議会が推進する地域福祉活動に広く活用しています。

広報紙「社協ひこね」は令和５年度より、年３回、８ページでの発行になります。
発行日は「４月１日、10月１日、令和６年２月１日」です。

社協ひこね
2023年(R5)10月　第226号

編集発行／社会福祉法人彦根市社会福祉協議会
〒522-0041 彦根市平田町670
TEL：0749-22-2871　FAX：0749-22-2841
ホームページ：http：//www.hikone-shakyo.or.jp
E-mail：soumu@hikone-shakyo.or.jp

この広報紙の一部は、「赤い羽根共同募金」の助成金や皆さまからの会費で作成しています

最新情報をタイムリーにお届け！

Homepage　𝕏（旧twitter）　facebook　Instagram